

地域で支えあうまちづくり懇談会 アンケート集計 (H30.1.23サンヒルズ甲西)

	水戸	下田	その他
①区長・まち協	8人	19人	
②民生委員・児童委員	7人	7人	
③保護司	1人	1人	1人
④更生保護女性会			
⑤健康推進員		1人	
⑥各種団体役員			
⑦市民	1人	1人	
⑧市内事業所		1人	
⑨その他			20人
計	17人	30人	21人
参加者数	68人		

懇談会に参加しての感想・ご意見、言えなかった地域の課題

- ・地域差も少なく、高齢者の対応が早急に必要であることの実態が感じられた。
- ・市のリーダーシップが必要。
- ・いろんな課題があるが、解決根本は人と人のコミュニケーションが重要であり、この構築に取り組む必要がある。
- ・いろいろと各地域ともよくある問題が多かった。
- ・いろいろな意見が出たが、出ただけで解決していくのか。市で真剣な取り組みができるか疑問。
- ・地域の課題が多く出されたが、これを「できそうなもの」「できないもの」に分け、「できそうなもの」を地域の壁を越えてどう解決していくかを検討する場を作ってください。
- ・課題はどの地域も出せるが、解決する手段は他方面の知恵を出さなければできない。まずは「移動手段」の解決から。

・高齢化の問題が多く、年齢が若い方の参加が得られれば20代、40代などいろいろな年代がグループに入ると話も変わると思う。年代別に区から何人か集めてもらうなど。

・高齢化に伴う問題はどのグループでも同様の問題が出ていた。年齢差を越えた活動を計画し、地域のコミュニティの活性化を図る必要あり。

・人の心は見えない。どこかへ気持ちを伝えられる場所が近くにあればよい。ふれあいバスの活用を考えるべき。病院・買い物・楽しみなど目的に合った活用ができれば利便性も上がると思う。

・ボランティアばかりに地域のことを押し付けないでほしい。税金で働いているわけではない、あくまでもボランティアで余った時間しか使えないのだ。

・高齢者支援ボランティアに対する市の対応が悪い。
(例)通院・買い物支援の交通補助(バスの有効利用、車の提供)

・外国籍の人々の市としての受け入れ体制は？
母子家庭への支援・生活保護・車の免許や保険など。働き手が母親1人だと子供の面倒を見ることができず、地域が乱れていく。

・自分たちが15年後の自分を考えた時の話し合いがあった。ひとり暮らしになった時の不安など移動手段が問題などいろいろと出た。

・行政が地域に期待する内容がわかりにくい。

・地域からの問題点を提案するも行政が積極性に欠ける。

・各グループの問題点はほぼ同じである。対策をどうするかを意見交換する場が必要。また具体的に対策をどのように進めるか本当の課題である。

・もう少し小さな地区で話し合う必要があるように思います。

・若者・高齢者の代表を交えて懇談会を開催すれば、もっと身近な問題が出てくると思われる。

・地域の方といろいろな意見交流ができました。世代間の課題や思いは違っても、抱えている問題は同じで地域で支えていけるような環境になればと思いました。人のつながりが薄くなってきている世の中では難しいこともありますが、地域住民の一人として何かできることをしていきたいと思います。

・増加傾向にある高齢者の出所者(前歴)の対応の早急な検討。

・地域の問題点を話し合いながら出し合うことは意味があるかもしれないが、行政サービスの向上に繋がらなければ意味がない。

・懇談会前(事前資料)にいただきたい。

・まち協、区長会どちらを優先されているのかわからない。区長会→地域(自治会)での開催を期待します。

・思っている問題点、良い点などストレートに出せて良かった。誰もが思い考えている課題がいくつも出ていて解決できるかが問題。

・地域のつながりを作ることが大事。住民同士が自分たちの課題を自分ごととして考えられる機会は重要であると思います。

・子ども会や婦人会がなくなっていく中、地区会のような多世代の集まりの機会を作れるような仕掛けづくりをしていくことで、地域のつながりを作る事に繋がればよいと思います。

・市民に興味を持ってもらえるような仕掛けづくりを検討することが大切であると感じた。

・どのグループも挙げておられた交通手段は市との連携が必要であると思います。こういった会合にもっと多くの市民が参加してほしいと思う。

・各グループから出ていた課題を十分に吟味して自治会活動に展開したいと考えます。高齢化社会をどう生きるか、支援も含めて協議したい。

・どのグループも同じ課題が出ていたので、それが下田・水戸の抱えている共通の課題だと思う。この課題に対して、行政からの助言や今日参加していない地域住民への発信など、次のアクションに繋がっていきたいと思います。

・社会的にはボランティア活動が活発に推進されているように思うが、今後きびしくなる経済状況では難しくなると思います。

・地域の孤立問題、高齢になってくると買い物や通院などが不自由になる。免許返納の問題等、生活に欠かせない問題がある。

・課題共有はできているが、今後解決するための方策を懇談していくことが求められるのではないかな。

・民生委員をしています。今回のグループワークはまさに民生委員の諸問題を話し合っていたように思い、大変良かったと思います。

・地域で世代が違う者がそれぞれ意見を交換し、課題を共有することは大切であると思うが、しっかりと具現化していくことを期待し、切望します。

・高齢化が進んでいる今、役員をして下さる方が減ってきている。日頃、外に出にくい人は声をかけても出にくい。地域のみんなが日頃から仲良くしていくことが大事。

・地域のつながりは役員の負担感が大きい。行政はこの空気を変えるような方策をしてほしい。

・時代の流れか、近所づきあいが薄くなっているのでは、なかなか個人の情報が入りにくくなってきている。どの地域でも問題になっていると思う。

・少子高齢化が一番の課題。地域の活性化と隣近所の密接化がもっとも大切と思われる。下田商店街が昔のような活性化できる具体的な方法がないだろうか。(下田ブランド・観光ルート等の育成)

・地区の懇談会、会議の重要、地区や組内でも会議を多くしてもらおう。

・自治会運営にこのような危機があるとは・・・と思った。南陽台がもっとも交わりにくく大変だと感じた。

・市内のケアマネ会議で地域の課題抽出をおこなったが、住民の方も同じような意見や思いを持たれていることが知れてよかった、担い手がいないことが今後の包括ケアを実施するうえで大きな課題だと感じた。どの世代にも湖南市の実情を知らせていく必要があると思います。

- ・ワークショップ形式だと、ほかの地域の課題、話題を聞くことができた。
- ・参加者が均一で、もう少し年齢層が幅広くなる懇談会になると良かったと思う。
- ・課題の共有化ができた。対策をどうするか個別対応が難しそう。行政と地域団体との連携がさらに重要となる。財政の裏付けをどのように計っていくのかなどに議論がある。(次回以降のテーマ)
- ・増加する高齢被介護者数に対して、介護者人口の少ない点に不安を感じる。
- ・行政の地域福祉の取組充実を期待します。財政や利便性のフォローをお願いします。
- ・いろんな課題があるが、解決根本は人と人のコミュニケーションが重要であり、この構築に取り組みが必要。意見を聞いて参考になった。思っていることは皆同じだということがわかった。
- ・どの地域も似たような課題や問題があると知った。普段、何も考えずに地域の事を見ているので、みなさんの発表を聞いて、意見の多さに感心した。
- ・地域の課題が多く出されたが、共通の課題が多く、これからの懇談会や地域の中でどう考えていくか、いろんな立場の者が話し合いをしていける場が重要になってくると思います。
- ・課題は常に変わっていくので、話をして共有することは、これから先も必要になってくると思います。
- ・高齢者の多いグループ発表を聞いて、いろいろな問題があると意見があったが、どこも同様だと思いました。市として何か対策できることはないのでしょうか。
- ・生活支援、交通支援など早急に手当が必要。今動いてくれる人達をサポートにして工夫すること。
- ・当事者の発言する人が来ていないのが残念でした。